

## 【仕様書別紙】 ELS 機能要件

### ELS 機能要件

#### (ア) 配信、インターフェース

- インターネット上でコンテンツを配信できる SaaS (Software as a Service) 型 ELS であること。
- e-ラーニングにおける国際的な標準規格 SCORM (Sharable Content Object Reference Model) に準拠していること。また、SCORM に対応したコンテンツ作成が可能であること。
- 独自ドメイン (<https://atc-elearning.pmda.go.jp>) が設定できること。
- 受講者のインターフェース（画面）は英語表記であること。
- 海外からのアクセス制限がないこと。
- PC、モバイル両方での受講が可能であり、機種に依存しない形で標準的な動画の視聴が行えること。Microsoft Windows、macOS、Android、iOS などの代表的な OS に対応していること。
- 同時 30 アクセスがあっても円滑な受講ができること。
- 受講者のログイン画面において、PMDA ロゴの設定及びオリジナル画面の設定、不要なアイコンの非表示など教育研修効果上必要なカスタマイズが行えること。  
(参考：<https://atc-elearning.pmda.go.jp>)
- 受講者が期間中、24 時間いつでも学習できるようインターネットを配信すること。保守などの利用により配信を止める場合は、事前のアナウンスを行えること。

#### (イ) コンテンツ、小テスト、アンケート

- コンテンツは、静止画（Microsoft Word, Excel, Power Point、PDF ファイル）及び動画（MP4 等）の標準的なファイル形式での掲載が可能であること。なお、Power Point は HTML5 形式に変換し挿入すること。教材（コンテンツ）の変更、追加等が隨時行えること。
- 動画コンテンツは 1 コンテンツにつき 500MB までの容量の掲載が可能であること。
- 複数のコンテンツを 2 段階以上の階層に分けコースとして構成可能であること。
  - 上位の階層は 6 個以上設定可能であること。
  - 下位の階層は 20 個程度設定可能であること。
  - 下位の階層 1 つあたり 20 コンテンツ以上の掲載が可能であること。
- コンテンツ視聴後の理解度を確認するための小テストがコンテンツごとに設定できること。小テストは、選択式（ラジオボタン、複数選択の設定可）、回答後の解説表示、複数回の回答を設定できること。

- 動画コンテンツは、コンテンツ単位での視聴履歴が蓄積され、確認できること。
- 視聴途中のコンテンツの途中再生ができること。
- 受講者及び管理者がコンテンツの閲覧状況（閲覧の有無）を確認できること。
- コース毎の受講終了時にアンケート（選択式及び自由記入式）を設定できること（小テスト機能を流用することでも可）。

(ウ) 管理機能、受講者機能

- コースごとに、閲覧可能なコンテンツ、受講者及び受講期間を制御できること。
- 受講者 ID 付与は、CSV ファイルによる一括付与、一括削除が可能であること。
- 静止画コンテンツ（PDF ファイル等）は受講者によるダウンロード可／不可の制御ができること。動画コンテンツ（mp4 ファイル等）はダウンロード不可の制御ができること。
- 修了証をコースごとに自動的に発行できること。修了証は、受講者氏名、受講完了日及びコース名が記載され、PMDA ロゴ及び縁取りデザインのあるものとする。
- 全受講者のコンテンツ視聴状況（視聴の有無、履歴）、小テスト受講状況と結果及びアンケート回答を受講者ごとに集計、CSV 形式でのレポート出力が可能であること。
- 月ごとの集計が可能となるよう、指定した日時に自動的に CSV 形式でのレポートが出力される機能を備えていること。

以上